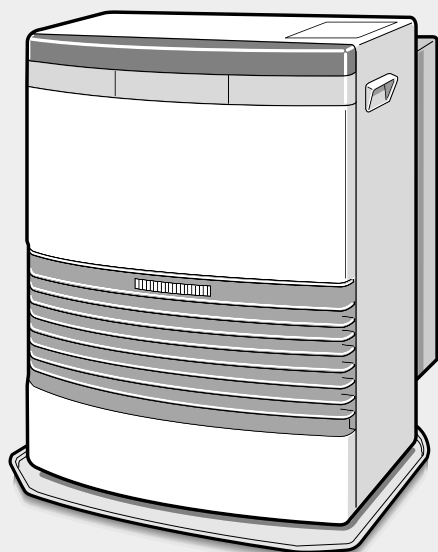
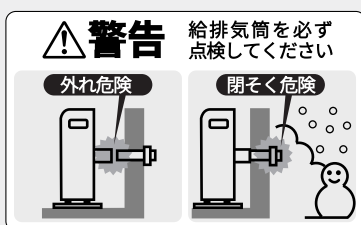
SHARP®

取扱説明書
シャープ
密閉式石油ストーブ

形名 OF-45E（オーエフ 45 イー）







石油ストーブには必ず良質の灯油（JIS 1号灯油）を使いましょう

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、家族全員で正しくお使いください。
取扱説明書は保証書とともに、必ず保存してください。

正しく使って上手に節約

もくじ

特に注意していただきたいこと

絵表示について
この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示をしています。その表示を無視して誤った取扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **危　険**　人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。
⚠ **警　告**　人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
⚠ **注　意**　人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

絵表示の意味
⚠ 記号は、気をつける必要があることを表しています。
⊘ 記号は、してはいけないことを表しています。
❗ 記号は、しなければならないことを表しています。

● 「特に注意していただきたいこと」は使う前に必ず読み、いつでも見られる所に保管しておいてください。

⚠ 危　険

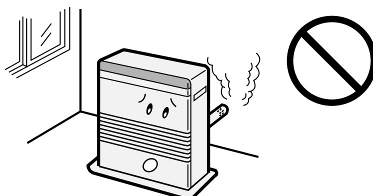
●ガソリン厳禁
灯油 (JIS 1号灯油)を、必ず使用してください。
ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。

火災の原因になります。



●室内排気厳禁
据付工事は販売店または専門の工事店に依頼してください。

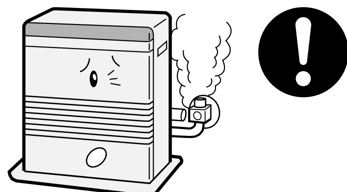
異常燃焼し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。



⚠ 警　告

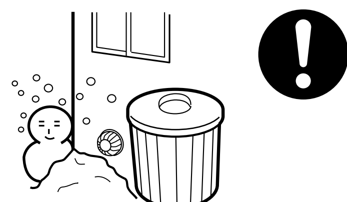
● 外れ危険
給排気筒(管・ホース)が正しく接続されているか点検してください。

外れていると運転中に排ガスが室内にもれて、危険です。



● 給排気筒トップ閉そく危険
積雪が多い時には、給排気筒トップの周りが雪でふさがれていないことを確認してください。
ふさがれているときは、除雪してください。

運転中に排ガスが室内にもれて、危険です。



⚠ 警　告

●スプレー缶厳禁

ストーブのそばでスプレーや引火物などを使用しないでください。また、スプレー缶を温風があたるところに放置しないでください。

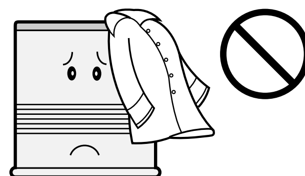
破裂し危険です。



●温風吹出口をふさがない

衣類、紙などで温風吹出口や空気取入口をふさがないでください。

衣類、紙などでふさぐと、火災の原因になります。

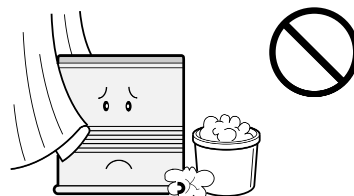


⚠ 注　意

●カーテン・可燃物近接禁止

カーテンや燃えやすい物のそばなどでは使用しないでください。

火災が発生するおそれがあります。



●給油時消火

給油は、必ず消火してからおこなってください。

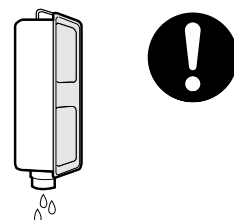
火災のおそれがあります。



●油もれ確認

給油口口金は確実に締めてください。
給油口口金を下にして油もれがないことを確かめてください。

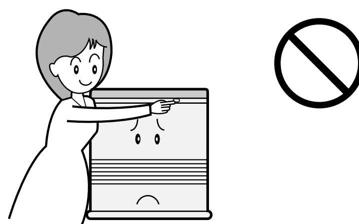
口金を斜めに締めたりすると、簡単に口金が外れて火災のおそれがあります。



●異常時使用禁止

万一異常を感じたときは使用しないでください。

異常燃焼のおそれがあります。



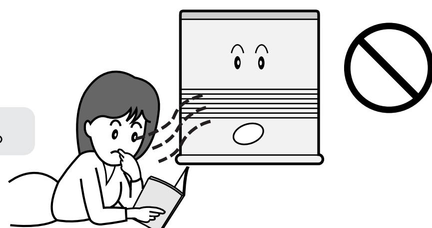
特に注意していただきたいこと

⚠ 注　意

● 温風に注意

温風に直接長時間あたらないでください。

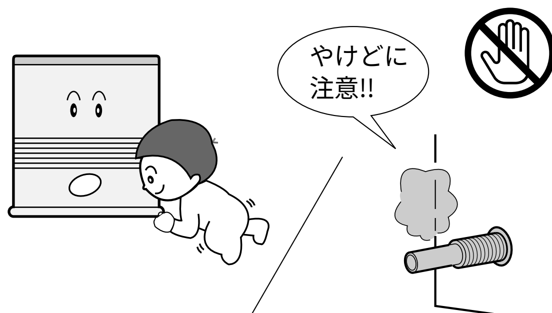
低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。



● 高温部に注意

燃焼中や消火直後は高温部、給排気筒、温風吹出口付近に手など触れないよう注意してください。

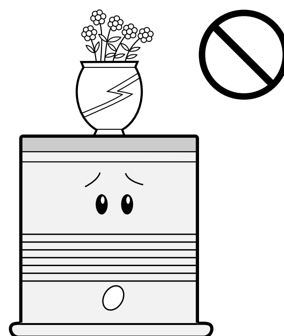
やけどのおそれがあります。



● 物をのせたり腰をかけないで

ストーブの上に腰をかけたり、重い物をのせないでください。
またストーブの上に花びんなどをのせないでください。

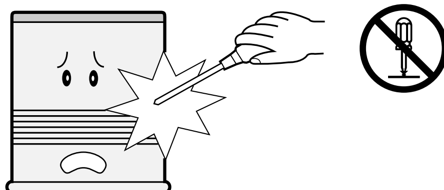
やけどをしたり、ストーブが変形するおそれがあります。
水がストーブ内に入りますと、故障の原因となります。



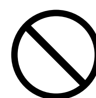
● 分解・修理の禁止

故障・破損したら使用しないでください。

不完全な修理や改造は危険です。



● 改造使用の禁止

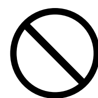


改造して使用しないでください。
また、ストーブや給排気筒には、床暖房用の熱交換器などを取付けないでください。

火災や排ガスが室内にもれる原因となり危険です。

⚠ 注　意

● 電源コードを傷めない



電源コードに無理な力を加えたり、物を乗せたりしないでください。
また、差込プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。

火災や感電の原因になります。

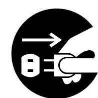
● 差込プラグは確実に差し込む



差込プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。

火災の原因になります。

●長期間使用しないときは差込プラグを抜く



長期間使用しないときは、差込プラグを抜いてください。

火災や予想しない事故の原因になります。

●差込プラグのお手入れを



ときどきは差込プラグを抜き、ほこりを除去してください。

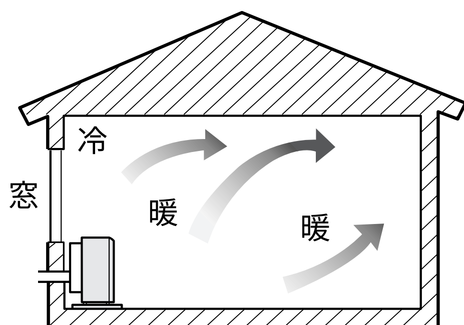
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。

使用する場所

ストーブを安全に使用するためには、場所の選定が大切です。

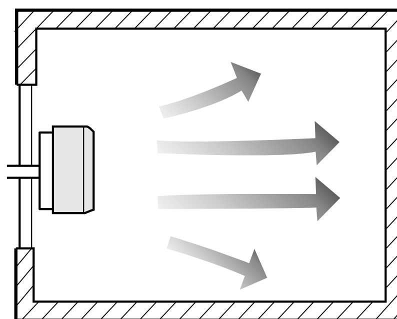
効果的に使用するために

外気に接する窓の下や壁側に設置。



(側面図)

温風吹出口側の空間を広くとれる場所。

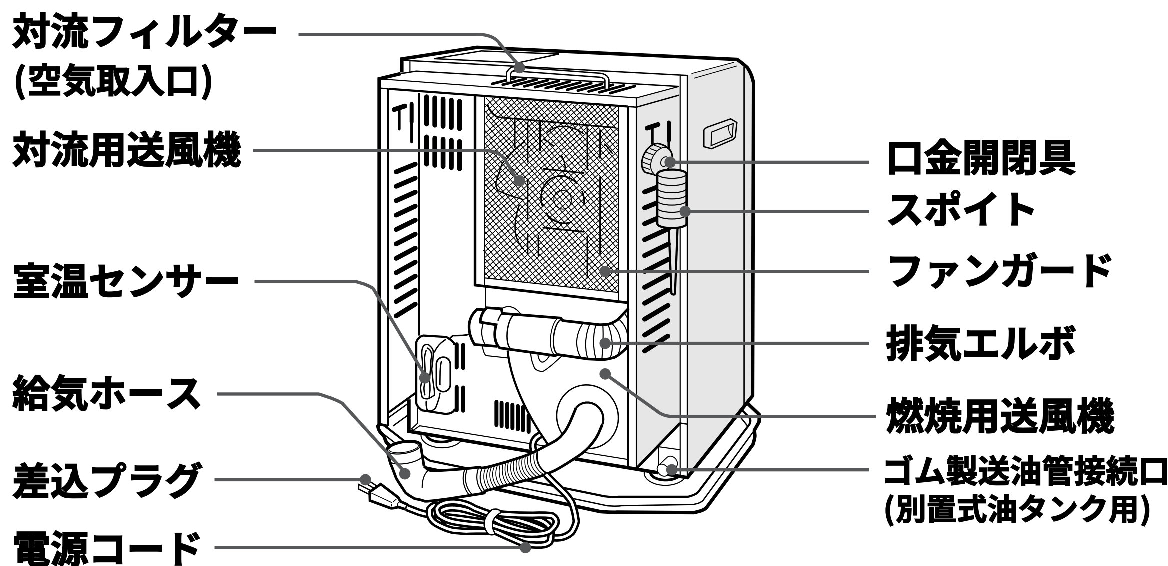


(平面図)

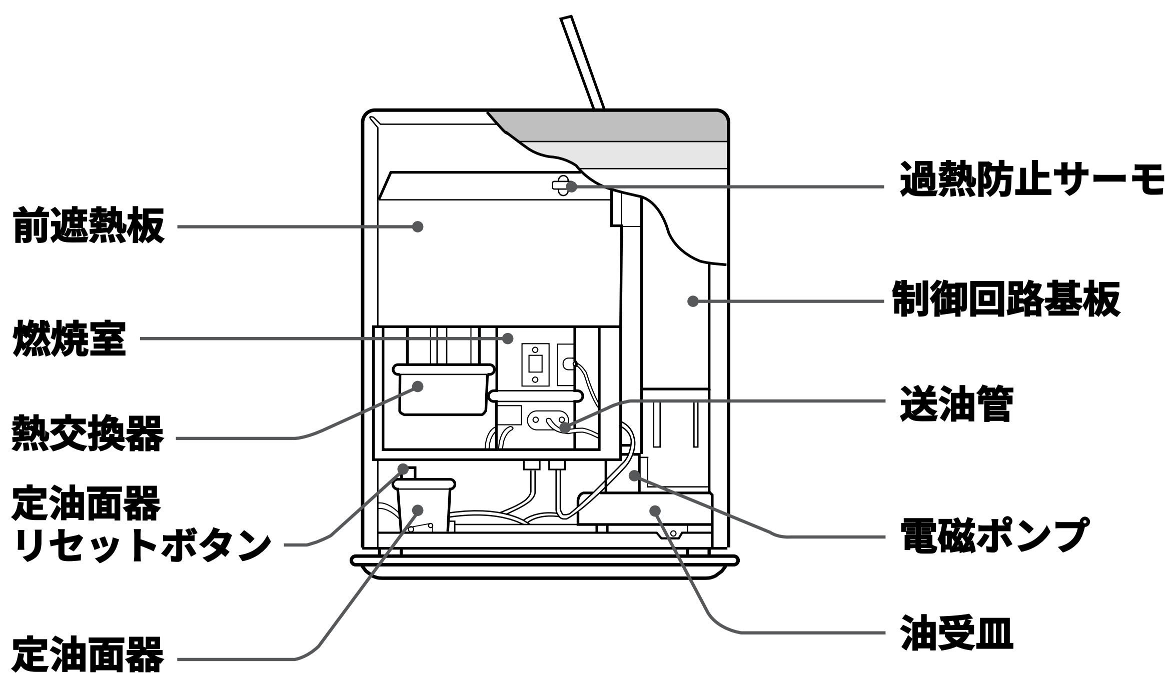
各部のなまえ

外　観　図

給油タンクとって
給油タンク
油量計
給油口口金
タンクふた
操作ふた
操作部
前　板
背面カバー
確認窓
温風吹出口
(ルーバ)
置　台



構　造　図


過熱防止サーモ
前遮熱板
制御回路基板
燃焼室
送油管
熱交換器
定油面器
リセットボタン
電磁ポンプ
油受皿
定油面器

各部のなまえ

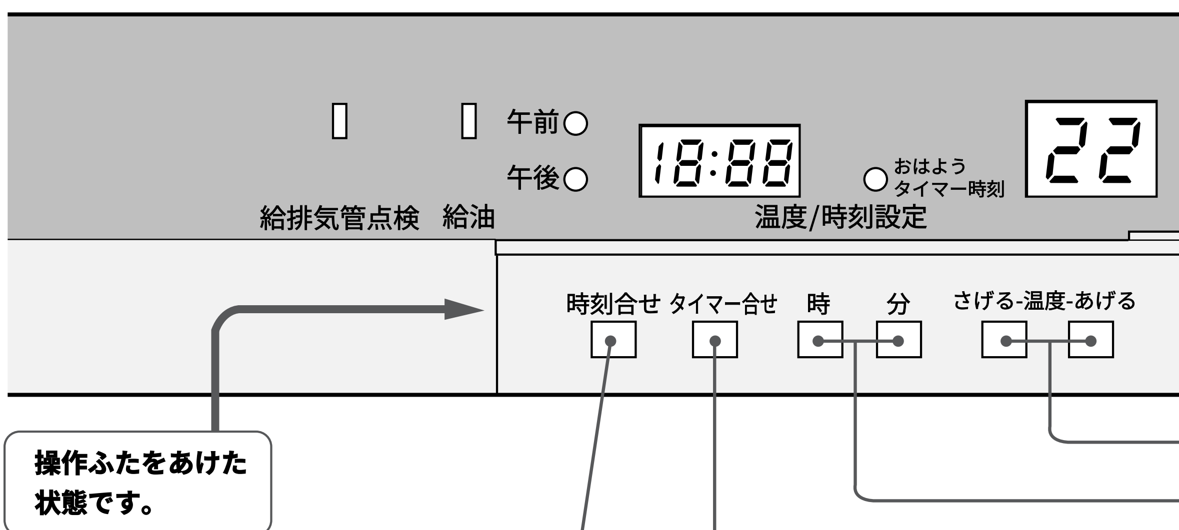
操　作　部

注　意

スイッチやボタンは「ピッ」という音がするまで確実に押してください。
軽く押すと動作しないことがあります。

ホットキープボタン

ホットキープ運転を開始および解除します。
(☞ 19ページ参照)



操作ふたをあけた状態です。

時刻合せボタン

現在時刻を合わせるとき押します。
(☞ 16ページ参照)

タイマー合せボタン

おはようタイマー時刻を合わせるとき押します。
(☞ 20,21ページ参照)

おやすみタイマースイッチ

おやすみタイマー運転を開始および解除します。
(☞ 21ページ参照)

おはようタイマースイッチ

おはようタイマー運転を開始および解除します。
(☞ 20,21ページ参照)

設定温度
室温
ホットキープ
30 60 90分
おやすみタイマー
おはようタイマー
運転入/切

時刻設定ボタン

「時」…… 時を合わせます。
「分」…… 分を合わせます。
(☞ 16,20ページ参照)

温度設定ボタン

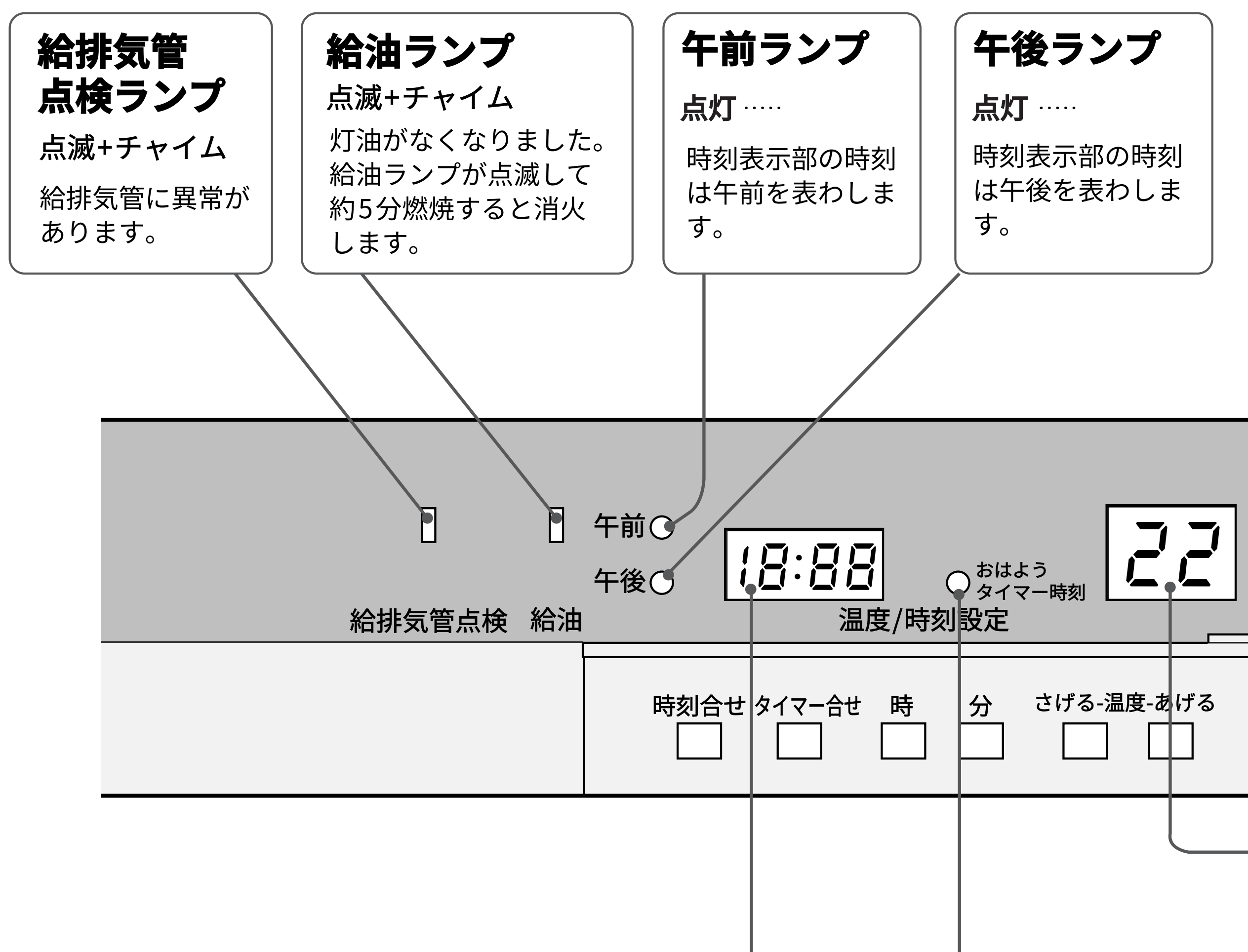
「さげる」…… 設定温度を下げます。
「あげる」…… 設定温度を上げます。
(☞ 19ページ参照)

運転スイッチ

通常運転を開始および消火します。
(☞ 18ページ参照)

各部のなまえ

各ランプの見かた



時刻表示部

時刻表示	異常表示	故障表示
現在時刻、またはタイマー設定時刻を表示します。(☞16,20ページ参照)	安全装置や保護装置がはたらいたときに「F-0」～「F 11」で異常内容を表示します。(☞ 22ページ参照)	故障時に、自己診断機能により、「E-1」～「E-7」で表示します。お買いあげの販売店にご連絡ください。(☞ 29ページ参照)

おはようタイマー時刻ランプ

点滅 ·····

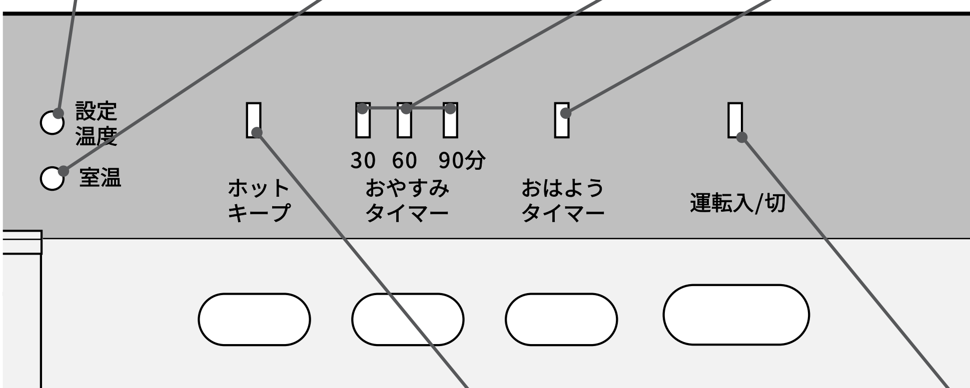
時刻表示部がタイマー設定時刻を表示します。

設定温度ランプ
点灯 ‥‥‥
温度表示部は設定温度を表示します。

室温ランプ
点灯 ‥‥‥
温度表示部は室温を表示します。

おやすみタイマーランプ
点灯 ‥‥‥
おやすみタイマー運転中です。

おはようタイマーランプ
点灯 ‥‥‥
おはようタイマー運転中です。



温度表示部（次の内容を表示します）

設定温度表示
設定温度を「Lo」、「5～34」℃の範囲および「Hi」で表示します。
(☞ 19ページ参照)

室温表示
室温を「0～35」℃の範囲で表示します。
0℃未満は「Lo」、35℃をこえる場合は「Hi」を表示します。

ホットキープランプ
点灯 ‥‥‥
ホットキープ運転中です。

運転ランプ
点灯 ‥‥‥
運転中です。

点滅+チャイム
安全装置がはたらいて消火しました。
(☞ 22ページ参照)

使用前の準備

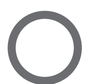
燃　料

● 燃料は灯油（JIS１号灯油)を必ず使用してください

ガソリン、シンナーおよびこれらが混入した灯油や変質灯油、汚れた油、
水の混じっている灯油などは、絶対に使用しないでください。

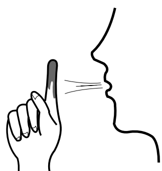
灯油とガソリンの見分けかた

指先につけ、息を吹きかけます。(火の気のない所でしてください。)



灯油

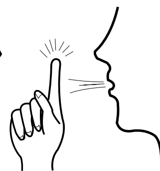
濡れたまま。





ガソリン

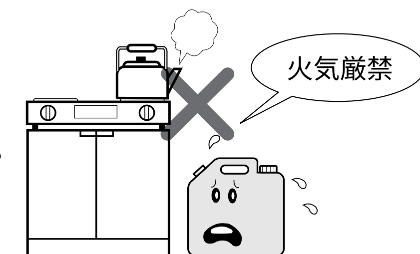
すぐ乾いてしまう。

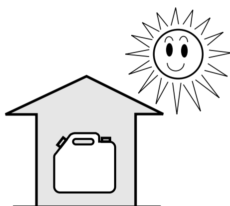
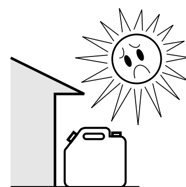


● 灯油の保管のしかた

灯油は必ず火気・雨水・ごみ・高温および直射日光を
避けた場所に保管してください。
容器は灯油専用の着色されたものを使用してください。

ガソリンなどといっしょに保管しないでください。

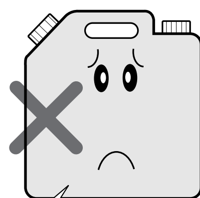


 良い保管	 悪い保管
直射日光、雨水が当たらず、火気のない冷暗所へ保管。 	直射日光、雨水の当たるベランダなどで保管。 

● 変質灯油、不純灯油とは

変質灯油

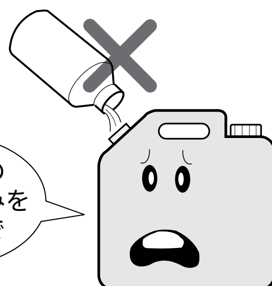
- 古い灯油。
  (ひと夏持ち越した灯油)
- 長時間、日光の当たる場所や、温度の高い場所に保管した灯油。
- 容器のふたが開けてあったり、白いポリ容器で保管した灯油。



変質のひどいものは、黄色味をおびたり、すっぱいにおいがします。

不純灯油

- 灯油以外の油（ガソリン、シンナー、天ぷら油、機械油、重油など）がほんの少しでも混入した灯油。
- 水やごみが混入した灯油。



● 変質灯油や不純灯油を使用
気化器に多量のタールがたまり、点火しなくなったり、炎が小さくなったり、途中消火したり、においがしたりします。

● 水の混入した灯油を使用
炎が小さくなり、消えてしまいます。

● ガソリン、シンナーなど揮発性の高い油を使用
火災の原因になります。

万一変質灯油や不純灯油を使ったときの処置のしかた

1 良質の灯油に交換
油タンク、定油面器の悪い灯油を抜き取り、良質の灯油で内部を2～3回洗ってから使用します。
(☞ 25ページ参照)

2 サービス依頼
悪い灯油を抜き取っても効果のないときは、お買いあげの販売店にサービスを依頼してください。

注　意

変質灯油や不純灯油が原因でサービスを依頼されたときは、保証期間中でも有料となります。

使用前の準備

給　油（必ず消火してからおこなってください）

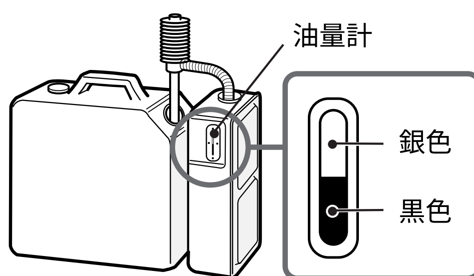
1 給油タンクを取り出し、給油口口金をはずします

口金開閉具を使用しますと、手を汚さずに給油口口金の開閉ができます。



2 給油します

油量計の銀色部分が、ほぼ半分ぐらい黒くなるまで給油します。
(市販の給油ポンプを使います。)



3 給油口口金は確実に締めます

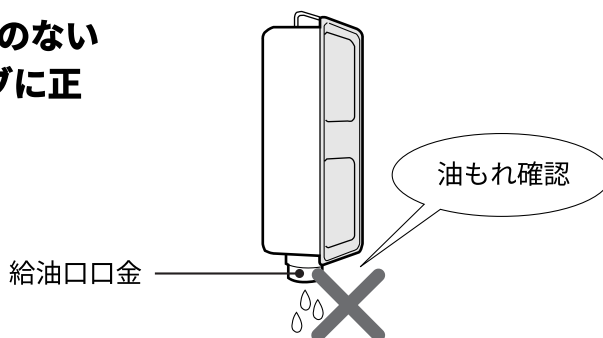
こぼれた灯油はよくふきとってください。

⚠ **注　意**

給油口口金は斜めに締めたり、締めつけが不完全ですと、油もれによる火災の原因になります。



4 給油口口金を下にして油もれのないことを確認してから、ストーブに正しくセットします。

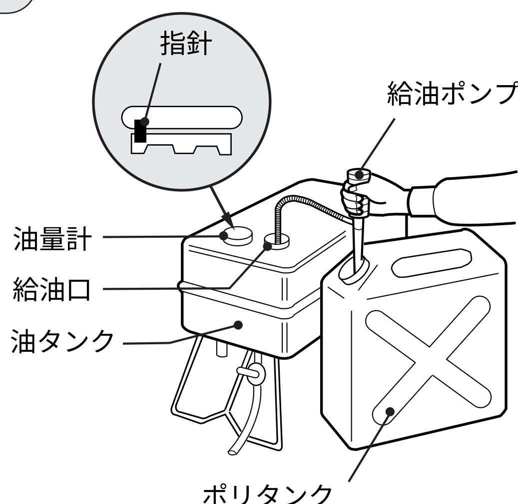


注　意
● 油切れを起こす前に給油ランプの点滅とチャイムがお知らせしますので、運転を停止させてから給油してください。

別置式油タンクをご使用のとき

注　意

ストーブ内のオイルフィルター(24ページ参照)をはずしてください。また給油タンクは灯油を抜いてストーブにセットしておいてください。



1 給油のさいの手順と注意

① 給油ポンプを使用して給油し、油量計指針が「満」になったら止めてください。

② 給油口のフィルターは必ず使用してください。

③ 給油が終わったら給油口ふたを確実に閉めてください。

④ こぼれた灯油はきれいにふきとってください。

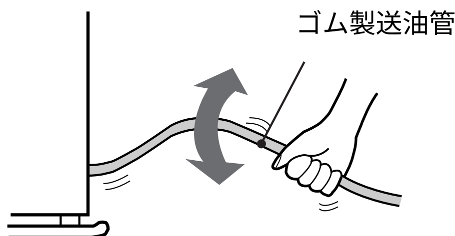
2 油量の確認

● 油タンクの油量計指針が「空」になっていないかどうか確認してください。
指針が「空」になっている場合は、タンク内の油がごくわずかしかありませんので、灯油を補給してください。

● 油タンク内の油がなくなってから給油すると、ストーブが点火できなかったり、火がときどき消えたりすることがありますのでご注意ください。（送油経路内に空気が入り油の流れが不安定になったり、油が全く流れなくなるためです）
このような場合は、ゴム製送油管を強く振って空気抜きをしてください。

空気抜きの方法

ゴム製送油管の中に入っている空気がストーブの方に流れるようにゴム製送油管を強く振ってください。



注　意

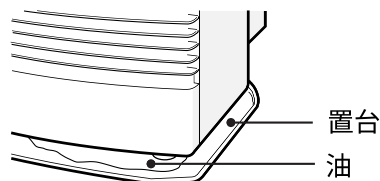
●油切れにならないように、油タンクの油量計が「空」になる前に給油してください。
●給油するとき、ごみなどが入らないように注意してください。
燃焼不良の原因になります。

使用前の準備

点火前の準備と確認

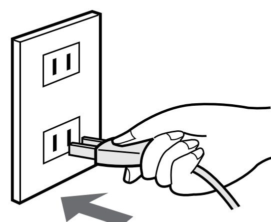
1 油もれの確認

給油タンクや送油管の接合部からの油もれや、
置台の上などに油がこぼれていないかどうか
確かめてください。



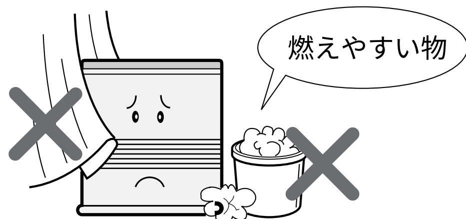
2 差込プラグの接続

- 差込プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- 電源は、一般家庭用100V電源コンセントをお使いください。
- 差込プラグを抜くときは差込プラグを持って抜いてください。
  コードを持って抜くと、コードが断線し、故障の原因になります。



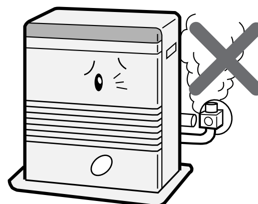
3 ストーブ周辺の確認

ストーブの周囲、および給排気筒の周囲に、
燃えやすいものを置かないでください。



4 給排気筒の接続部の確認

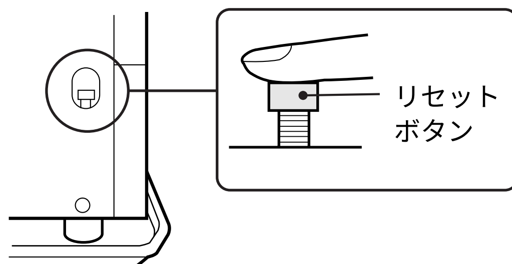
給排気筒が正しく接続されているか、確認してください。外れていると、運転中に排ガスが室内にもれ、大変危険です。



5 定油面器のセット

(別置式油タンクを使用のとき)

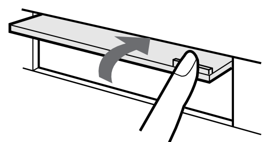
ストーブ側面のリセット口から見える、赤いリセットボタンを押してください。
セットしなければ使用できません。



注　意 ● リセットボタンをくり返し何度も押し続けたりすると定油面器から油があふれます。

使用方法

操作ふたを開けてください。



時刻合せボタン
時ボタン
分ボタン
時刻表示部

現在時刻の合わせかた

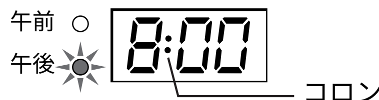
例 **午後8時30分に合わせるとき**

1 時刻合せボタンを押します

時刻表示部のコロンの点滅が点灯に変わります。(5秒後に点滅に戻ります。)

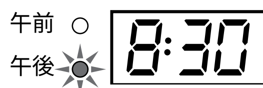
2 時ボタンを押して「午後8:00」に合わせます。

午前・午後も正しく合わせてください。
押し続けると早送りになります。



3 分ボタンを押して「午後8:30」に合わせます。

押し続けると早送りになります。



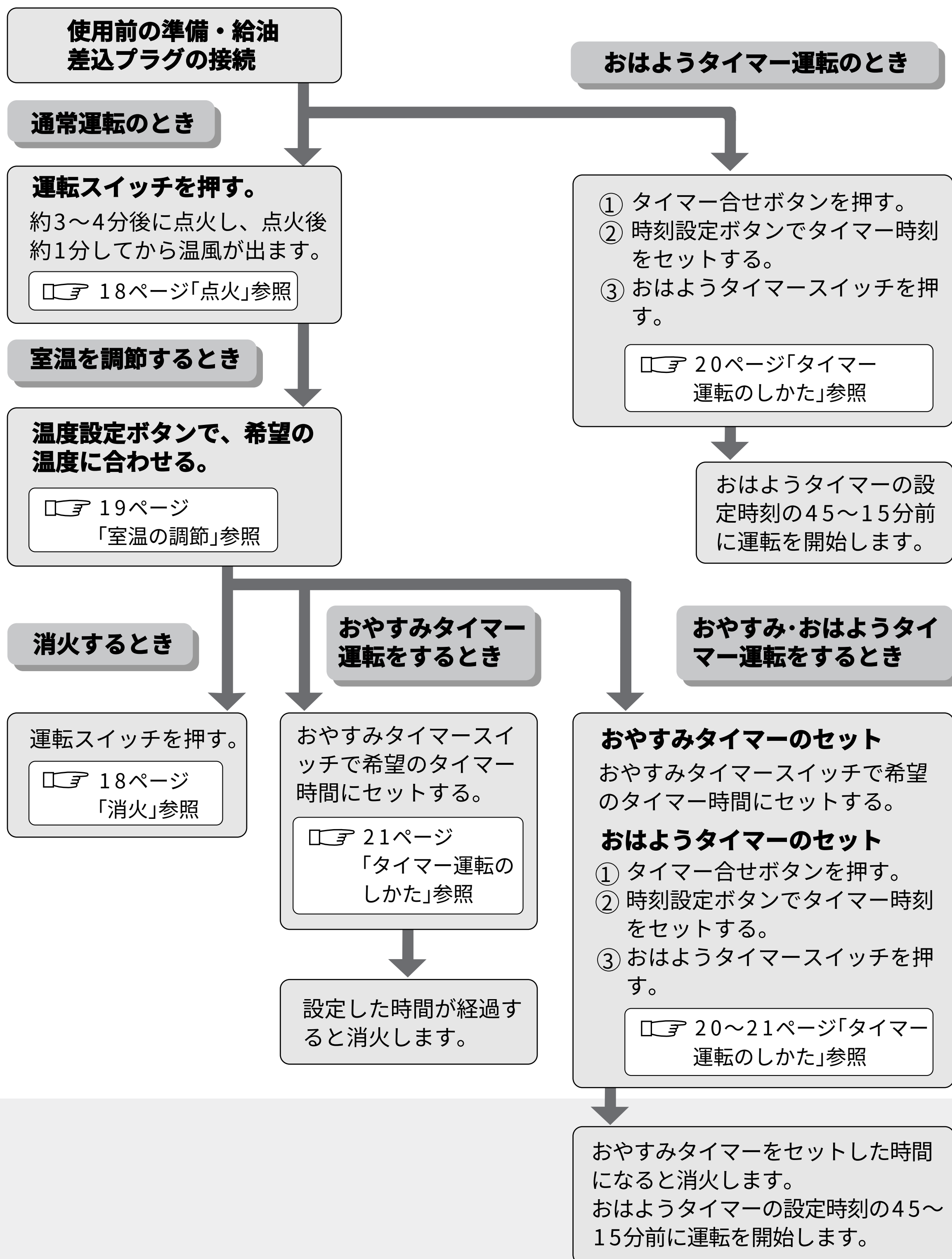
4 時刻合せボタンを押します。

- 時刻表示部のコロンの点灯が点滅に変わります。
- 同時に時計が動きはじめます。
  時報などに合わせて押してください。
- そのまま時刻合せボタンを押さない場合は、1分後に時計が動き始めます。

注　意　差込プラグを抜いたり、停電後再通電したときは、「18:88」の点滅表示になります。
この場合、時計は止まっていますので、時刻合わせをやりなおしてください。

使用方法

ご使用の操作手順



運転ランプ
運転スイッチ

点　火

運転スイッチを押します

- 運転ランプが点灯し、約3～4分後に自動的に点火、燃焼します。
- 点火後約1分してから温風が出ます。



初めて使用するときには、においや煙が出ることがありますが、異常ではありません。しばらく換気をしながらご使用ください。

消　火

運転スイッチを押します

- 運転ランプが消灯し、消火します。
- 約4分後温風が止まります。

注　意

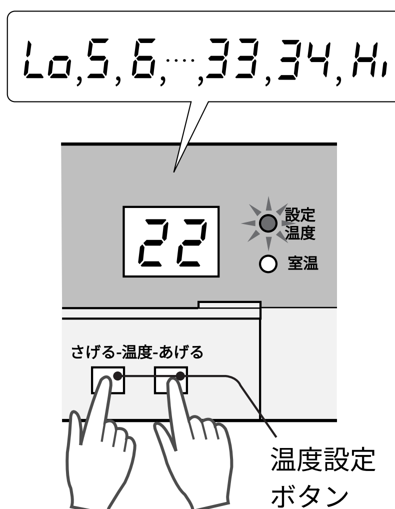
- 部屋の温度が設定温度より高いと燃焼しません。室温が下がれば自動的に点火します。
- 緊急時以外は、差込プラグを抜いて消火しないでください。対流用送風機が止まりますので、ストーブの内部温度が上がり、危険です。
- 長期留守にするときは、必ず差込プラグを抜いてください。
- 外出するときは、必ず消火してください。

使用方法

室温の調節

温度設定ボタンでお好みの温度にセットします。

(室温センサーにより、自動的に「強」「中」「弱」燃焼と「消火」をくり返し、部屋の温度を調節します。)



1 **温度設定ボタンを押してお好みの温度にセットしてください。**

- さげるボタンを押す …… 設定温度は下がります。
- あげるボタンを押す …… 設定温度は上がります。

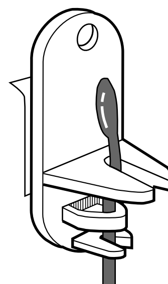
室温ランプが消灯し、設定温度ランプが点灯します。
ボタンは押し続けると早送りになります。

2 **セット完了約5秒後、設定温度ランプが消灯し、室温ランプが点灯します。**

同時に温度表示部は室温表示に変わります。

室温調節は、室温センサー周辺の温度を感知して調節しますので、室温表示と部屋の温度計とは一致しないことがあります。
必ず、ストーブ背面の室温センサーをポリ袋から取り出し、適切な位置に移動させてください。
(詳しくは工事説明書参照)

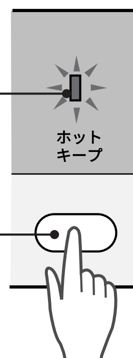
接着面の裏紙をはがし、適切な所(壁や柱など)に貼り付けることができます。



ホットキープ運転

ホットキープボタンを押すとホットキープランプが点灯します。

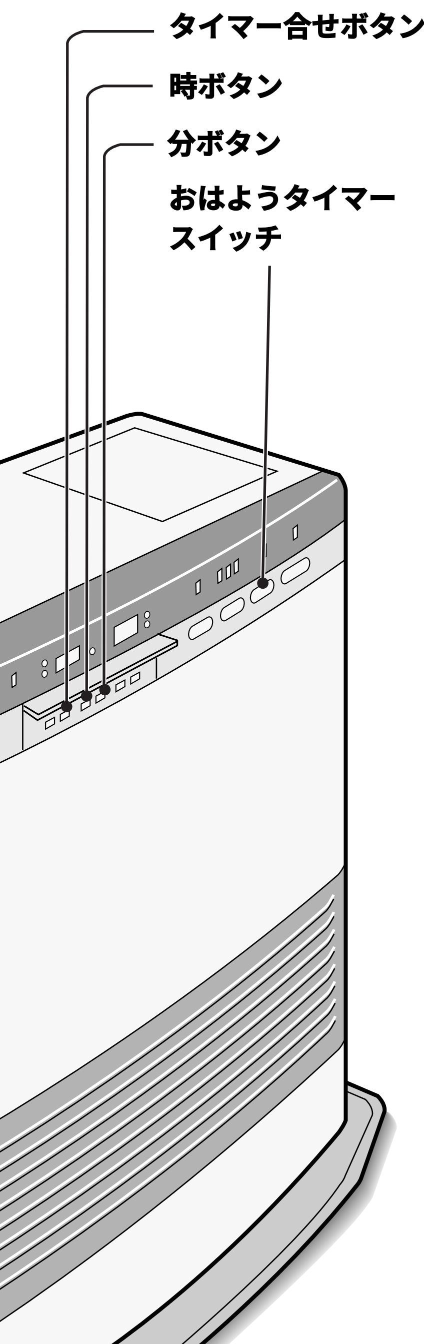
- ホットキープ運転では、火力は室温の変化に応じて、「強」「中」「弱」燃焼に切り替わりますが、消火はしません。
- もう一度押すとホットキープランプが消え、ホットキープ運転が解除されます。



注　意

- 差込プラグを抜いたり停電後再停電したときは、自動的に22℃設定になります。
- 設定温度を「 Hi 」、または「 Lo 」にセットしたときは、室温に関係なく「強連続燃焼」、または「弱連続燃焼」の運転になります。
- 点火後約1分間は室温調節に関係なく「中燃焼」で運転します。

(操作ふたを開けてください。)



タイマー運転のしかた

おはようタイマー運転、おやすみタイマー運転、おやすみ・おはようタイマー運転ができます。

おはようタイマー運転

おはようメモリータイマーにより、セットした時刻の45～15分前に(部屋の温度が低いほど早く)運転を開始しますので、部屋を暖めておきたい時刻に合わせてください。

例 午前6時30分に合わせるとき

必ず現在時刻を合わせてください。(16ページ参照)

1 タイマー合せボタンを押します

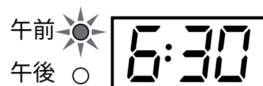
- 時刻表示がタイマー時刻表示に変わります。(5秒間だけ)
- おはようタイマー時刻ランプも点滅します。

2 時ボタンを押して「午前6:00」に合わせます。



- 午前・午後も正しく合わせてください。
- ボタンは押し続けると早送りになります。

3 分ボタンを押して「午前6:30」に合わせます。



押し続けると早送りになります。

4 おはようタイマースイッチを押します。

- おはようタイマーランプが点灯し、約5秒後に時刻表示部が現在時刻表示に変わり、タイマーが動き始めます。
- 次回からおはようタイマースイッチを押すだけで、同じ時刻にタイマー運転ができます

注 意

- タイマーセット後、タイマーセットした時刻を変更するときは、タイマー合せボタンを押してから変更してください。
- タイマーセット後、地震により安全装置がはたらいたときは、運転スイッチを押して運転ランプの点滅を消してから、再びタイマーセットしてください。
- 差込プラグを抜いたり停電したときは、自動的に「午前5:00」にセットされます。
- おはようタイマースイッチを押すと、おはようタイマー時刻ランプが5秒間点灯し、タイマー時刻を表示します。

使用方法

…… タイマー運転のしかた

おやすみタイマー運転

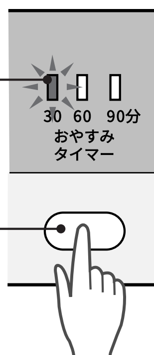
ストーブが運転中にセットしてください。30分・60分・90分後にストーブを消火します。

1 おやすみタイマースイッチを押します。

- 1回押すと30分、2回押すと60分、3回押すと90分にセットされ、それぞれのおやすみタイマーランプが点灯しておやすみタイマー運転を開始します。
- さらにもう1回押すと、おやすみタイマー運転は解除されます。

おやすみタイマーランプ

おやすみタイマースイッチ



2 セットした時間が経過しますと自動的に消火します。

おやすみ･おはようタイマー運転

おやすみタイマーで自動的にストーブを消火して、おはようタイマー設定時刻に部屋を暖める運転をします。

1 おやすみタイマー運転のセットをしてください。

(左記参照)

2 おはようタイマー運転のセットをしてください。

(☞ 20ページ参照)

- おやすみタイマーにより、セットした時間が経過しますと、自動的に消火します。
- 次におはようメモリータイマーにより、セットした時刻に部屋を暖めます。

安全装置

	はたらき	ランプ表示	装置が作動したあとは
対震自動消火装置	強い地震(震度約5以上)や衝撃を受けたとき自動消火します。	運転ランプ点滅 F - 1	ストーブの周辺、給排気管、給排気筒に異常がないか確認してから点火操作してください。
過熱防止装置	対流フィルターの目づまりや温風吹出口がふさがれ、本体内部の温度が異常に上昇したとき消火します。	運転ランプ点滅 F - 1	原因を取り除き、本体内部が十分冷えてから、点火操作してください。
点火安全装置	点火ミス、異常燃焼などのときに自動消火します。	運転ランプ点滅 F 10 F 11	点火操作をやり直してください。 くり返し作動する場合は、点検を依頼してください。
停電安全装置	停電または、差込プラグが抜けたとき自動消火します。	全ランプ消灯	再通電後、点火操作してください。

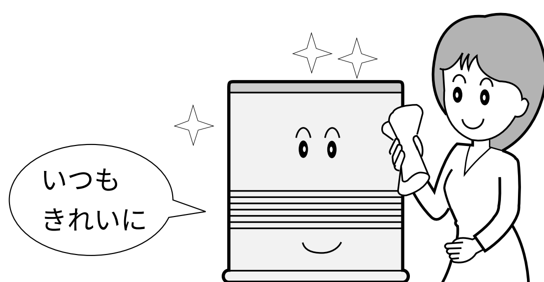
その他の装置

	はたらき	ランプ表示	装置が作動したあとは
室温異常上昇防止装置	室温が45℃以上に上昇したときや、室温センサーのそばに他の暖房器をおいたときに自動消火します。	運転ランプ点滅 F - 3	原因を取り除いてから点火操作をしてください。
給排気検知装置	給排気筒や延長時の給排気管の接続部がはずれたときに自動消火します。	運転ランプ点滅 「給排気管点検」ランプ点滅 F - 0	接続部のはずれがないか点検してから点火操作をしてください。
	給排気筒や延長管が他の金属部と接触していたり、延長管どうしが接触しているとき自動消火します。	運転ランプ点滅 「給排気管点検」ランプ点滅 F - 9	正しく工事してください。

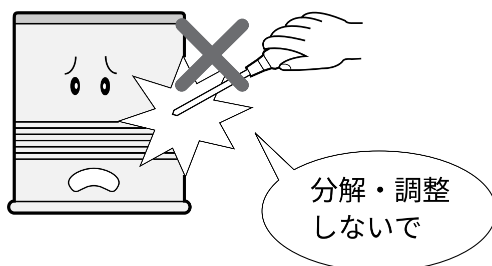
日常の点検･手入れ

お願い

● **ストーブおよびストーブの周辺は、いつもきれいに掃除してください。汚れたままでのご使用は危険です。また、ストーブの寿命を縮めます。**



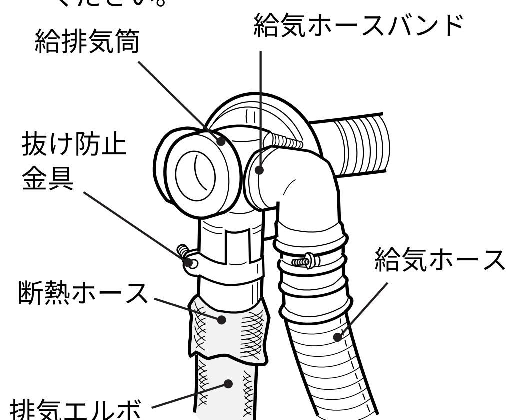
● **安全装置や電装部品は､絶対に分解・調整しないでください。**



使用ごと

●給排気筒・延長管

- 給排気筒に､排気エルボが正しく確実につながっているか､また接続箇所が抜け防止金具で固定されているか､確認してください。
- 延長配管の場合は配管の接続部が抜け防止金具で固定されているか、また壁面に確実に固定されているか点検してください。



● 給排気筒周囲

給排気筒トップがビニールの袋などでふさがれていないか点検してください。
給排気筒周囲に、可燃物・引火物がないか確かめてください。
積雪が多いときには、給排気筒トップの周りが雪でふさがれていないことを確認してください。

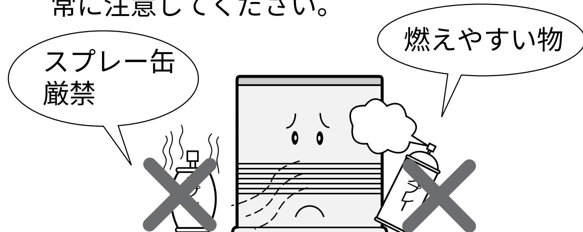
注　意

日常の点検・手入れは必ずストーブが冷えた後、差込プラグをコンセントから抜いておこなってください。

使用ごと

● 周囲の可燃物

ストーブの周囲に、燃えやすい物がないか、常に注意してください。

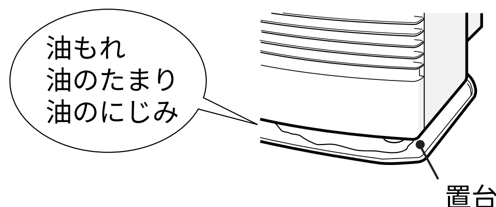


● ほこり

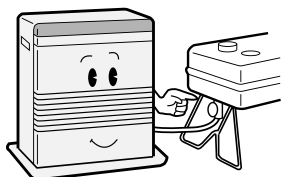
ストーブについたほこりや汚れは、きれいに掃除してください。

● 油もれ･油のたまり･油のにじみ

置台上に油のこぼれ、たまり、にじみがないか、また、給油中に給油タンクの油もれがないか、点検してください。



油タンクやゴム製送油管の接合部などから油もれがないかどうか点検してください。
(別置式油タンクを使用の場合。)

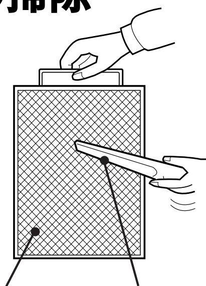


1週間に1回以上

● 対流フィルター・温風吹出口の掃除

ごみやほこりを掃除機などで取り除いてください。

- ごみやほこりによる目づまりは異常過熱の原因となります。

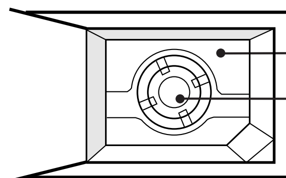


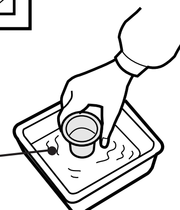
1ヵ月に1回以上

● オイルフィルターの掃除

オイルフィルターに、ごみや水がたまっていないか点検し、汚れているときは取り出して、きれいな灯油で洗ってください。

- ごみや水がたまると、灯油が通らなくなり、「火が消える」、「点火しない」などの原因になります。





日常の点検・手入れ

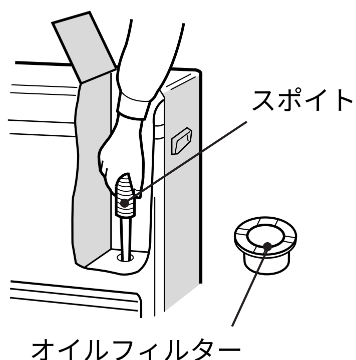
1シーズンに1回以上

● 油受皿の水、油抜き

油受皿の底に水やごみがたまっていないか点検してください。

1 給油タンクを取り出して、油受皿のオイルフィルターを取り出してください。

2 油受皿にたまっている水・油を付属のスポイトで抜き取ってください。
スポイトの油をこぼさないように、近くにコップなどを置いて移してください。



3 水・油抜き終了後はオイルフィルターを油受皿にもどしてください。

別置式油タンクを使用のとき

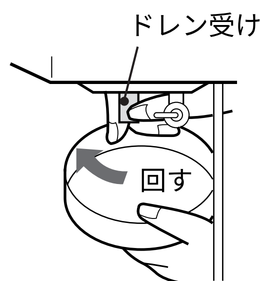
● ゴム製送油管の点検

ゴム製送油管の接続が確実か、ゴム製送油管にひび割れ、きれつなどがないか確かめてください。きれつ、ひび割れがある場合、油もれの原因になりますので交換してください。

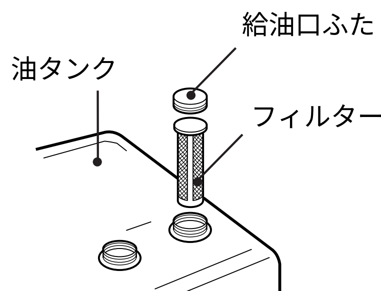
● 別置式タンクの清掃

油タンクは水やごみがたまりやすいので次のようにして掃除してください。

1 **水抜き**
ドレン受けの赤い浮子が浮いた状態になっているときは、水がたまっています。ドレン受けの下に容器を置き、ドレン受けをゆるめて水を抜いてください。



2 **フィルターの掃除**
給油口ふたをはずし、フィルターを取り出して灯油で洗い、ごみを落としてください。



●定油面器のストレーナの清掃

ストレーナに水やごみがたまると、油が出にくくなったり燃焼しないこともあります。

1 別置式油タンクの送油バルブを閉じてください。

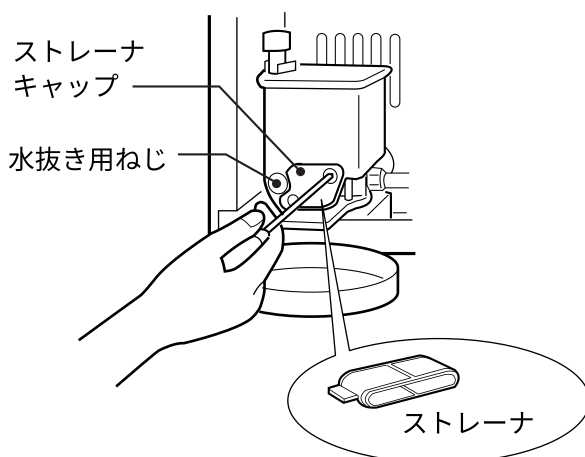
2 前板をはずしてください。

3 油受けの下に空き缶(容量0.5ℓ以上)などを置いてください。

4 ストレーナキャップを止めているねじ(2本)と水抜き用ねじ(1本)をはずし、油が抜けてからストレーナを抜き取ってください。

5 取り出したストレーナはきれいな灯油でよく洗ってごみを落としてください。

6 洗い終われば元のように組み込み、油もれのないよう十分にしめ付けてください。



定期点検

定期点検のおすすめ

製品の寿命をより長く、より良い燃焼で快適にお使いいただくため、2年に1回程度シーズン終了後などに、お買いあげの販売店、修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会(TEL03-3499-2928)でおこなう技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)〕などのいる店、またはもよりのシャープ消費者相談室･お客様ご相談窓口にご相談ください。サービスマンが点検いたします。
点検の結果、万一具合の悪い部分がございましたときは、お客様とご相談のうえ修理させていただきます。

消耗しやすい部品

1 **長期間の使用により消耗、劣化しやすい部品**
点火プラグ・炎検知器(フレームロッド)・Oリング・各種パッキン・電気回路の各接点

2 **特殊環境(大気汚染・塩害・温泉害など)により劣化しやすい部品**
排気管・給排気筒・電気回路の各接点

3 **変質・不純灯油の使用により劣化しやすい部品**
バーナ・電磁ポンプ・炎検知器(フレームロッド)・オイルフィルター

故障・異常の見分けかたと処置方法

サービスを依頼される前に

次のような状態は故障ではありません。

	状態		説明
点火時	初めて使用するとき煙や臭いがする。		塗料・ほこり・防錆油が焼けるためで2～3時間の使用でなくなります。
点火時	点火後数秒間「ボッボッ」という音がする。		異常ではありません。
点火時	点火、消火時に「キシミ音」がする。		加熱、冷却時に出る金属の膨張、収縮音です。
点火時	燃焼してもすぐに温風が出ない。		冷風を出さないためで、内部が暖まると温風が出ます。
燃焼中	燃焼中突然消火した。	給油ランプ点滅。	油切れによる消火です。給油してください。(☞ 13ページ参照)
燃焼中	燃焼中突然消火した。	運転ランプの点滅「F-0」～「F 11」	安全装置による自動消火です。(☞ 22ページ参照)
燃焼中	炎の先端が黄色い。ときどき黄色い炎が出る。		異常ではありません。
消火時	消火にしても対流用送風機が数分間運転している。		ストーブ内部を冷却するためで約4分すると止まります。
タイマー運転中	タイマーをセットしたのに運転を開始しない。		タイマー運転中に停電や地震があったためです。
その他	「給排気管点検」ランプが点滅して点火しない。または消火する。		給排気筒や延長管を点検してください。(☞ 23ページ参照)

故障・異常の見分けかたと処置方法

故障・異常の早見表

下記の処置方法により処置しても良くならない場合、またはデジタル表示部が「E-1」〜「E-7」の故障表示になった場合には、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口に点検を依頼してください。

原因 ↓ ／ 現象 ➡		点火しない	音をたてて燃える	赤火燃焼になる	臭いがする	使用中に消火する	処置方法 ↓	参照ページ
差込プラグがコンセントから抜けている。		●				●	差込プラグをコンセントに差し込む。	15
停電した。						●	停電復帰を待つ。	22
対震自動消火装置がはたらいた。		●				●	点火操作をする。	22
燃料	油切れ。	●				●	給油する。	13〜14
燃料	変質灯油(持越灯油)不純灯油を使用した。	●		●		●	良質の灯油を使用する。	12
燃料	水が混入した。	●				●	水抜きをする。	25
過熱防止装置がはたらいた。		●				●	原因を確認して取り除く。	22
給排気検知装置がはたらいた。		●				●	正しく工事し直す。	22
給排気筒の先端がふさがれている。			●	●		●	障害物を取り除く。	23
60Hz用ダンパの付け忘れ。			●			●	60Hz用ダンパを付ける。	—
油がこぼれている。					●		こぼれた油をふき取る。	24
オイルフィルターにごみがつまっている。		●				●	オイルフィルターのごみを取り除く。	24

故障表示

故障表示	内容	処置方法
E-1	予熱時気化器温度が上がらない。	● 差込プラグを抜いて約5秒以上あけて再び差し込み、運転スイッチを押しなおして「入」にする。 ● くり返し表示がでるときはお買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にご相談ください。
E-2	燃焼時気化器温度が低い。	
E-3	燃焼時気化器温度が高い。	
E-4	フレームセンサー異常。	
E-5	自己保持回路異常。	
E-7	電源クロック異常。	

部品交換のしかた

部品交換が必要なときは、お買いあげの販売店に依頼してください。

給排気筒のOリングは呼びP39(JISB2401 4種C)です。

- 故障したものは使用しないでください。
- 正規の部品に交換してください。
- 不完全な修理は危険です。なお修理は専門の技術者〔例えば(財)日本石油燃焼機器保守協会でおこなう技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)〕のいる販売店に依頼してください。

保　管 (長期間使用しない場合)

長期間使用しないときは次の要領でお手入れしてください。
掃除方法は23～26ページ「日常の点検・手入れ」をご覧ください。

- 灯油は翌シーズンに持ち越さない(使いきる)ようにしてください。
- ストーブはできるだけ据え付けたまま保管してください。
  また、差込プラグはコンセントから抜いてください。
  どうしても取り外して保管するときは湿気やほこりの少ない所に保管してください。
  再び据え付けるときは必ずお買いあげの販売店に依頼してください。
  (お客様ご自身で据付工事はしないでください。)
- ストーブの本体、対流フィルター、温風吹出口の掃除をしてください。
- ストーブ内の油を抜き取ってください。オイルフィルターなどの送油経路の掃除をしてください。
- 給油タンクを取り出し、残油をよくふってて内部を洗ってから給油口口金をはずし、給油口を下にしたまま放置し、残油を完全に抜いてください。

  お願い 結露によりタンク内に水が混入する場合があります。水が残っていると、タンク内がさび、穴あきの原因になります。
  残油は完全に抜き、さらに内部をよく乾燥させてください。

- 給排気筒にごみなどが詰まらないようにカバーなどをしてください。
  (ストーブを使用されるときは、必ずカバーを外してください。)
- ストーブ内部の清掃は必ずお買いあげの販売店に依頼してください。

仕様

形式の呼び		OF－45E	
種類		ジェット噴霧式・強制給排気形・強制対流形	
点火方式		高圧放電点火式	
使用燃料		灯油(JIS1号灯油)	
燃焼状態		最大	最小
燃料消費量		0.546L/h	約0.202L/h
熱効率		94%	90%
暖房出力		4.92kW(4,230kcal/h)	約1.74kW(約1,500kcal/h)
熱効率	最高	94%(強)	
	最低	90%(弱)	
油タンク容量		4.7L	
標準適室	温暖地	木造21.5m²(13畳)までコンクリート28.0m²(17畳)まで	
	寒冷地	木造21.5m²(13畳)までコンクリート33.0m²(21畳)まで	
外形寸法		高さ604mm・幅515mm・奥行き385mm(置台を含む)	
質量		22㎏	
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz	
定格消費電力		最大(点火時) 540/540W　燃焼時 65/62W	
		運転スイッチ「切」時 5.4/5.4W	
給排気筒呼び径		D60	
給排気筒壁貫通部孔径		85mm	
排気温度		260℃以下	
電流ヒューズ		10A	
安全装置		対震自動消火装置　停電安全装置　点火安全装置　過熱防止装置	
その他の装置		室温異常上昇防止装置　給排気検知装置	
付属品		標準給排気筒セット　置台　壁固定金具　60Hz用ダンパ スポイト　口金開閉具　背面カバーセット　ゴム製送油管継手	
印刷物付属品		取扱説明書　工事説明書　工事型紙　保証書	

アフターサービス

保証書(別添)

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
  保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- 保証期間…お買いあげの日から1年間です。
  保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は密閉式石油ストーブの補修用性能部品を製造打切後7年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼するときは 出張修理

修理を依頼する前に28〜29ページを調べてください。
それでも異常があるときは使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品名：密閉式石油ストーブ
- 形名：(保証書に記載の形名)
- お買いあげ日(年月日)
- 故障の状態 (できるだけ具体的に)
- ご住所 (付近の目印も合わせてお知らせください)
- お名前
- 電話番号
- ご訪問希望日

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。
ただし次のような原因による故障および事故につきましては保証の対象になりませんのでご注意ください。
- 変質灯油や不純灯油など、また灯油以外の燃料を使用したために故障や事故になった場合。
- その他取扱説明書に記載されている注意事項が守られず、誤った使いかたをされた場合。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料･部品代･出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

ご不明に点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お客様ご相談窓口一覧表

シャープ製品の修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談ならびに
ご依頼はお買いあげの販売店へ

なお、転居されたり、贈答品などで保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記の窓口にご相談ください

- 製品の故障や部品のご購入などのご相談は……**「修理ご相談窓口」へ**
  (注)＊印の窓口は「持ち込み修理および部品購入」のご相談窓口です。
- 製品に対するご意見・ご要望などは…………**「一般ご相談窓口」へ**

修理ご相談窓口

シャープエンジニアリング株式会社

出張修理ご相談はCSセンターにご依頼ください。
受付時間　月曜日～土曜日　午前9時～午後5時40分　＊日曜日、祝日など弊社休日は休ませていただきます。

担当地区	拠点名	電話番号	所在地
北海道	CSセンター	(011)641-4690	
	＊札　幌	(011)641-4685	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
	北　見	(0157)36-4649	北見市三輪435
	帯　広	(0155)21-6925	帯広市西8条南3-17
	苫小牧	(0144)34-7740	苫小牧市本町2-6-10
	室　蘭	(0143)45-4649	室蘭市中島町1-9
	釧　路	(0154)25-4649	釧路市光陽町8-13
	旭　川	(0166)25-4649	旭川市一条通4-左10
	函　館	(0138)51-4649	函館市五稜郭町31-17
青森県	青　森	(0177)38-0281	青森市妙見3-3-4
	弘　前	(0172)27-4649	弘前市豊田3-5-1
	八　戸	(0178)44-4649	八戸市小中野2-8-16
秋田県	秋　田	(018)863-4649	秋田市川尻町大川反170-56
	横　手	(0182)33-4649	横手市横手町六の口5
岩手県	岩　手	(019)638-6087	紫波郡矢巾町流通センター南3-1-1
	釜　石	(0193)23-4649	釜石市上中島町4-6-43
宮城県	CSセンター	(022)288-9250	
	＊宮　城	(022)288-9142	仙台市若林区卸町東3-1-27
山形県	山　形	(023)631-4649	山形市飯田2-7-43
	酒　田	(0234)24-4649	酒田市大町19-5
福島県	福　島	(024)945-4649	郡山市安積町荒井方八丁33-1
	会津若松	(0242)25-4649	会津若松市山見町41-2
	いわき	(0246)28-4649	いわき市自由ケ丘37-10
新潟県	CSセンター	(025)285-1513	
	＊新　潟	(025)285-3663	新潟市上所中1-7-21
	＊長　岡	(0258)23-1819	長岡市摂田屋町崩2600
栃木県	CSセンター	(03)5692-7722	
	＊栃　木	(028)637-1179	宇都宮市不動前4-2-41
	＊小　山	(0282)62-5466	下都賀郡藤岡町藤岡5201
群馬県	CSセンター	(03)5692-7722	
	＊群　馬	(027)252-4706	前橋市問屋町1-3-7
茨城県	CSセンター	(03)5692-7722	
	＊茨　城	(029)241-4930	水戸市千波町1963
	＊南茨城	(0298)57-9130	つくば市栗原2857-9
埼玉県	CSセンター	(03)5692-7722	
	＊埼玉中央	(048)666-7987	大宮市宮原町2-107-2
	＊埼玉東	(0489)78-7101	越谷市南荻島346-1
東京都	CSセンター	(03)5692-7722	
	＊江　東	(03)3626-4642	東京都墨田区石原2-12-3
	＊城　南	(03)3776-2419	東京都大田区南馬込1-5-15
	＊城　北	(03)3972-4195	東京都板橋区東新町1-33-11
	＊世田谷	(03)3707-3345	東京都世田谷区用賀3-8-18
	＊田　端	(03)5692-7765	東京都北区東田端2-13-17
	＊三多摩	(042)586-6059	日野市日野台5-5-4

担当地区	拠点名	電話番号	所在地
千葉県	CSセンター	(03)5692-7722	
	＊千　葉	(043)299-8840	千葉市美浜区中瀬1-9-2
	＊西千葉	(0473)68-4766	松戸市稔台295-1
	＊東千葉	(0479)79-1181	八日市場市高字東2779-4
	＊木更津	(0438)37-7912	木更津市請西2-5-22
神奈川県	CSセンター	(03)5692-7722	
	＊横　浜	(045)753-4647	横浜市磯子区中原1-2-23
	＊湘　南	(0463)54-4738	平塚市田村1381
	＊相模原	(0427)59-4195	相模原市横山2-2-12
山梨県	CSセンター	(03)5692-7722	
	＊山　梨	(055)228-5375	甲府市富竹2-1-17
静岡県	CSセンター	(054)285-9360	
	＊静　岡	(054)285-9340	静岡市曲金6-8-44
	＊沼　津	(0559)22-5249	沼津市宮前町11-4
	＊浜　松	(053)463-4680	浜松市植松町1476-2
長野県	CSセンター	(026)293-6612	
	＊松　本	(0263)27-4694	松本市芳野8-14
	＊長　野	(026)293-6262	長野市篠ノ井塩崎東田沢6877-1
愛知県	CSセンター	(052)332-5880	
	＊名古屋	(052)332-2623	名古屋市中川区山王3-5-5
	＊岡　崎	(0564)24-2343	岡崎市柿田町1-21
	＊豊　橋	(0532)53-4647	豊橋市下地町橋口17-1
岐阜県	CSセンター	(052)332-5880	
	＊岐　阜	(058)273-4969	岐阜市六条南3-12-9
三重県	CSセンター	(052)332-5880	
	＊三　重	(059)232-6300	津市栗真町屋町蒲池328
富山県	CSセンター	(076)269-1875	
	＊富　山	(076)451-2459	富山市金泉寺71-1
石川県	CSセンター	(076)269-1875	
	＊金　沢	(076)249-2434	石川郡野々市町御経塚町1096-1
福井県	CSセンター	(076)269-1875	
	＊福　井	(0776)54-2459	福井市北四ツ居町625
滋賀県	CSセンター	(06)6795-2899	
	＊滋　賀	(077)545-4692	大津市栗林町11-35
	＊彦　根	(0749)24-4643	彦根市東沼波町133
京都府	CSセンター	(06)6795-2899	
	＊京　都	(075)672-2378	京都市南区上鳥羽菅田町48
	＊北近畿	(0773)23-9151	福知山市末広町6-13
大阪府	CSセンター	(06)6795-2800	
	＊大　阪	(06)6643-5331	大阪市浪速区恵美須西1-2-9
	＊堺	(0722)45-4651	堺市老松町1-39
	＊大阪TC	(06)6794-5611	大阪市平野区加美南3-7-19
	＊南大阪	(0724)31-1950	貝塚市沢1215
	＊北大阪	(0726)34-4519	茨木市鮎川5-15-3

修理ご相談窓口

シャープエンジニアリング株式会社

担当地区	拠点名	電話番号	所在地
兵庫県	CSセンター	(06)6795-2899	
	*兵　庫	(078)791-1541	神戸市須磨区弥栄台3-15-2
	*神　戸	(078)453-4651	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
	*阪　神	(06)6421-4877	尼崎市猪名寺3-2-10
	*姫　路	(0792)66-1819	姫路市青山5-7-7
	*豊　岡	(0796)23-7515	豊岡市九日市上町下畑77-1
奈良県	CSセンター	(06)6795-2899	
	*奈　良	(0743)53-6693	大和郡山市美濃庄町492
	*奈良南	(0745)65-1492	御所市茅原4-3
和歌山県	CSセンター	(06)6795-2899	
	*和歌山	(073)445-4615	和歌山市西小二里2-4-91
	*南　紀	(0739)25-3121	田辺市稲成町441-1
鳥取県	鳥　取	(0857)27-8831	鳥取市青葉町2-204
岡山県	CSセンター	(086)292-1707	
	*岡　山	(086)292-1709	都窪郡早島町矢尾828
島根県	CSセンター	(0852)24-4811	
	*松　江	(0852)24-4810	松江市西津田3-1-10
広島県	CSセンター	(082)874-8071	
	*広　島	(082)874-8149	広島市安佐南区西原2-13-4
	CSセンター	(0824)28-7448	
	*東広島	(0824)28-7490	東広島市八本松東4-3-30
	CSセンター	(0849)51-7644	
	*福　山	(0849)51-7654	福山市津之郷町津之郷上開地
山口県	CSセンター	(083)972-0870	
	*山　口	(083)972-0891	吉敷郡小郡町若草町4-12
	*東山口	(0833)44-0923	下松市西豊井173-1
香川県	CSセンター	(087)823-5513	
	*香　川	(087)823-4901	高松市朝日町6-2-8
徳島県	CSセンター	(088)625-4684	
	*徳　島	(088)625-4654	徳島市中常三島町3-11-14
愛媛県	CSセンター	(089)971-4729	
	*愛　媛	(089)971-4563	松山市高岡町178-1
高知県	CSセンター	(088)882-4021	
	*高　知	(088)882-4635	高知市高須960-1
福岡県	CSセンター	(092)586-1122	
	*福　岡	(092)572-4652	福岡市博多区井相田2-12-1
	*南福岡	(0942)45-8211	久留米市御井旗崎3-7-14
	*北九州	(093)592-4677	北九州市小倉北区大手町6-12
佐賀県	CSセンター	(092)586-1122	
	*佐　賀	(0952)24-9450	佐賀市鍋島町八戸五本松篭2043-2
長崎県	CSセンター	(095)844-1870	
	*長　崎	(0957)52-3511	大村市古賀島町613-3
	佐世保	(0956)32-6666	佐世保市白岳町107-5
大分県	CSセンター	(097)552-9416	
	*大　分	(097)552-2313	大分市松原町3-5-3
熊本県	CSセンター	(096)366-7070	
	*熊　本	(096)364-4777	熊本市新屋敷3-15-17
	天　草	(0969)23-8711	本渡市港町19-3
宮崎県	CSセンター	(0985)31-1823	
	*宮　崎	(0985)31-1832	宮崎市原町4-12
鹿児島県	CSセンター	(099)253-0250	
	*鹿児島	(099)253-4600	鹿児島市鴨池新町12-1

沖縄シャープ電機株式会社

担当地区	拠点名	電話番号	所在地
沖縄県	那　覇	(098)861-0866	那覇市曙2-10-1
	先　島	(09807)3-3603	平良市下里214-4
鹿児島県	奄　美	(0997)53-4777	名瀬市塩浜町8-1

一般ご相談窓口

シャープ株式会社

受付時間　月曜日～土曜日　午前9時～午後6時　*日曜日、祝日など弊社休日は休ませていただきます。

東日本相談室	(043)297-4649　FAX (043)299-8280	〒261-8520　千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	(06)6621-4649　FAX (06)6792-5993	〒547-0003　大阪市平野区加美南4-3-41

シャープエンジニアリング株式会社

受付時間　月曜日～金曜日　午前9時～午後5時40分　*土・日曜日、祝日など弊社休日は休ませていただきます。

北海道支店消費者相談室	(011)642-4649	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北支店消費者相談室	(022)288-9147	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
首都圏支店消費者相談室	(03)3893-4649	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
中部支店消費者相談室	(052)332-4649	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
近畿支店消費者相談室	(06)6794-7041	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
中国支店消費者相談室	(082)874-4649	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国支店消費者相談室	(087)823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州支店消費者相談室	(092)572-4655	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1

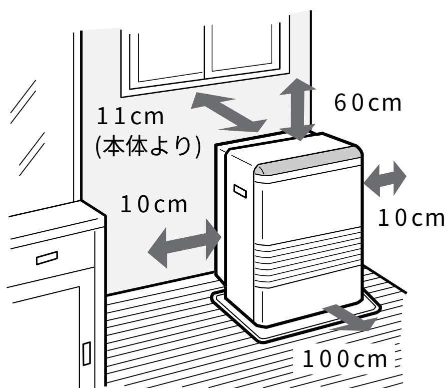
所在地・電話番号・受付時間などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。(0101)

据　付　け

据付け場所の選定

ストーブの据付けは、火災予防条例にしたがってください。

図に示す寸法以上離して、次のような点に注意のうえ使用してください。

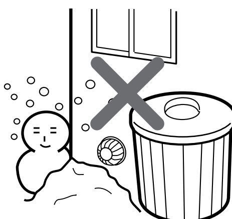


- 燃えやすいものや障害物のない場所。
- 水平で安定のよい、しっかりした場所。
- ストーブを背面で固定できる場所。

電源は家庭用100Vの電源コンセントを使用してください。(電源コードの有効長さは約2mです。)

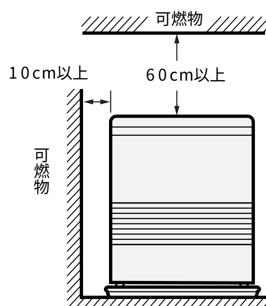
給排気筒は正しく屋外に取り出せるように設置してください。集合煙突には絶対に取り付けないでください。

積雪の多い地方では、積雪時に給排気筒が雪でふさがれないような取付場所を選定してください。また、風がよどむような場所では、排ガスを再度吸い込んで不完全燃焼を起こすことがあります。

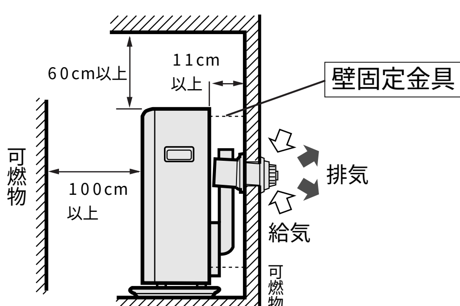


標準据付け例

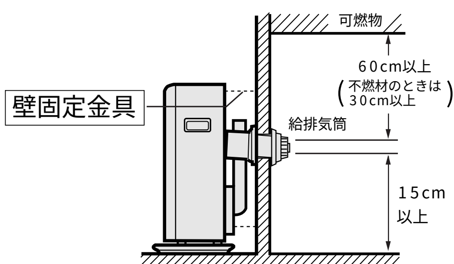
ストーブの据付けは下図の範囲でゆとりをもって取り付けてください。



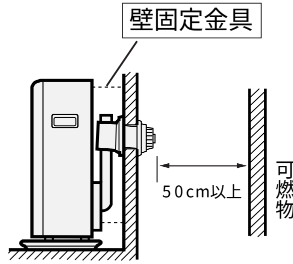
(正　面)



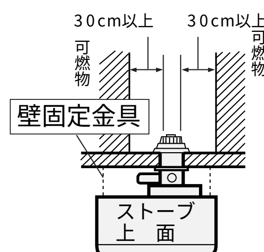
(側　面)



(側　面)



(側　面)



(平　面)

据付け工事後の確認

据付けが終わりましたらもう一度次のことを確認してください。

- 電源は家庭用１００Vの電源コンセントを使用していますか。
- ストーブが丈夫な床面に据付けられていますか。
- ストーブと壁とが固定されていますか。
- ストーブの周囲に可燃物がなく、必要な空間寸法がとられていますか。
- ストーブが水平に据付けられていますか。
- 給排気筒の周囲および壁貫通部は基準の寸法が守られていますか。
- 給排気筒を延長して取り付けられている場合、3m3曲がり以内になっていますか。
- 給排気筒(管・ホース)などの点検はおこないましたか。
- 排気管には断熱ホースをかぶせてありますか。
- 別置式油タンクとストーブとの間に防火上有効な壁などがある場合を除き、2m以上離しましたか。(別置式タンクを使用の場合)
  また屋外設置の別置式タンクを使用の場合、屋外配管は金属配管になっていますか。
  (ゴム製送油管は屋内専用です。)

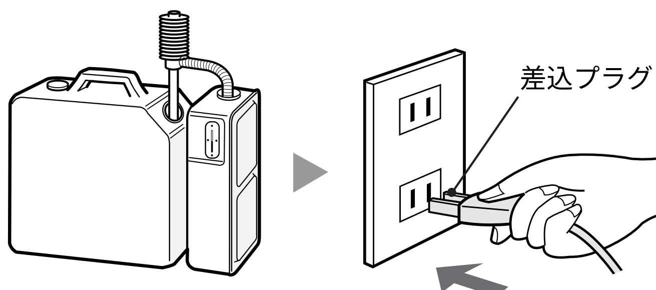
据　付　け

試　運　転

試運転は必ず販売店または据付業者とご一緒におこなってください。

1 運転準備

① 給油タンクに給油します。
② ストーブの置台に油がこぼれていないかよく確かめてください。
③ 差込プラグをコンセントに差し込みます。

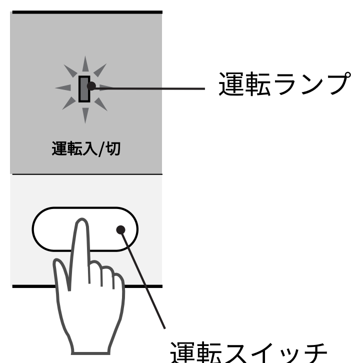


注　意

給油のさい、油をこぼさないようにご注意ください。
また給油後、給油口口金はしっかり閉めてください。

2 運　　転

① 運転スイッチを押します。運転ランプが点灯します。
② 約3～4分で点火し、点火後約1分で温風が出ます。



3 消　　火

① 運転スイッチをもう一度押します。
② 運転ランプが消え、ストーブが消火することを確認してください。
しばらくして(約4分)ストーブが冷えると温風も止まります。

注　意

- 初めてお使いになるときは、油受皿に灯油が入るまで5～10分してから点火してください。
- 初めてお使いになるときは塗料などの焼ける臭いや煙が温風吹出口より出ることがあります。窓を開けてしばらく換気してください。

給排気管の確認

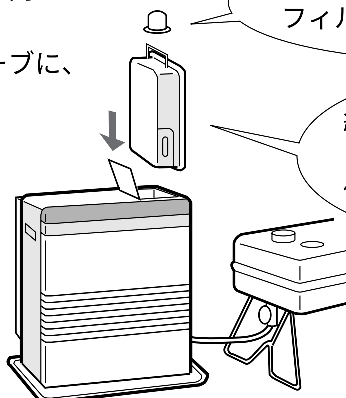
運転スイッチを押して、運転を開始したときに運転ランプおよび「給排気管点検」ランプが点滅し、時刻表示部に「F-0」または「F-9」表示が点灯したときは、給排気検知装置がはたらいたためです。
給排気管がはずれていないか、または正しい工事がされているか確認して不都合な部分をやりなおしてください。

給排気管を確認してください。

F - 0　F - 9

別置式タンクを使用の場合

別置式タンクを使用の場合は、ストーブ内のオイルフィルターをはずしてください。
また、給油タンクは灯油を抜いてストーブに、セットしておいてください。



据付け

廃棄するときは

ストーブや別置式油タンクを廃棄処分するときは、必ず給油タンク・別置式油タンク・油受皿・定油面器内の灯油を抜き取ってください。(☞ 25 ～ 26 ページ参照)
灯油が入ったまま廃棄すると、リサイクルのさい思わぬ事故になるおそれがあります。

お客様へ

ご不明な点や修理に関するご相談は

- **お買いあげの販売店**またはもよりの**シャープお客様ご相談窓口**(33、34ページ参照)にお問い合わせください。

お買いあげ日、販売店名を記入ください。修理依頼などに便利です。	
お買いあげ日	年　　月　　日
販売店名	
	電話(　　　)　　局　　番

シャープ株式会社

本社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
電話 大阪 (06)6621-1221(大代表)

電化システム事業本部 〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号
電話 大阪 (06)6791-7301(大代表)

TINSJA286CDEZ　1EO　①